

注) 変更事項となる項目にチェックを入れること。変更しない欄は、記載は要しないため斜線表記とすること。

(記載例)

(別紙)

建築士法第22条の3の3に定める記載事項の変更書面

業務名 _____

上記の原契約の(別紙)のうち下記の欄を次のように改める。

- 「設計・(工事監理)に従事することとなる建築士・建築設備士の欄」
- 「建築士事務所の名称等」の欄

注) 原契約に従事者2名を記載している場合で1名のみが変更となる場合は、変更後の体制2名を記載すること

【変更後】

設計・(工事監理)に従事することとなる建築士・建築設備士
【氏名】: ○○ ○○
【資格】: (一級) 建築士 【登録番号】 123456789
【氏名】:
【資格】: () 建築士 【登録番号】
(建築設備の設計・(工事監理)に関し意見を聴く者)
【氏名】:
【資格】: () 設備士 【登録番号】
() 建築士

* 従事することとなる建築士が構造設計及び設備設計一級建築士である場合にはその旨記載する。

建築士事務所の名称	(株) ○○建築士事務所
建築士事務所の所在地	○○県△△市□□町▲▲
区分(一級、二級、木造)	(一級) 建築士事務所
開設者氏名	(株) ○○建築士事務所 代表取締役 ○○ ○○ (法人の場合は開設者の名称及び代表者氏名)

原契約が公営企業管理者との契約しているものについては、公営企業管理者名にすること。

令和 年 月 日

委託者 尼崎市東七松町1丁目23番1号
尼崎市

代表者 尼崎市長 松本 眞 印

受託者

印